

事務事業名 海岸施設維持管理事業

政策:03 にぎわい豊かな暮らしを創出するまちづくり

施策:03 観光の振興

基本事業:03 海岸の整備

部名:経済環境部

課名:商工観光課

計画年度	平成18年度	～	年度	事業区分	継続	会計区分	普通会計	
1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）				2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）				
海岸施設、椰子の木等の景観維持、来遊客				観光客の快適な環境での来遊・集客のため、海岸施設（海岸駐車場・公衆トイレ等）及び椰子の木等の景観の維持管理等を実施				
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）								
海岸施設（海岸駐車場・公衆トイレ等）及び椰子の木等の景観の維持管理等を実施し観光客の快適な環境での来遊・集客をする								
4 活動指標・成果指標・事業費の推移								
区分	指標名称			単位	20年度実績	21年度実績	22年度当初	25年度目標値
活動指標	整備実施面積			m ²	12,000	12,000	16,000	-
活動指標								
成果指標	不具合件数			件	0	5	0	-
成果指標								
事業費				千円	6,372	6,398	5,299	
				うち一般財源	千円	6,372	6,398	0
5 目的妥当性								
○ 法定受託事業である（根拠法令→） ● 妥当である ○ 妥当性が低い				海岸法に基づく日常的管理の権限委譲をうけて市が管理を実施するものである。				
6 上位の基本事業への貢献度								
● 貢献度大きい（理由→） ○ 貢献度ふつう（理由→） ○ 貢献度小さい（理由→） ○ 基礎的事務事業				基本事業である海岸の整備の中では、本事業は市の主力事業である。市の観光の主力である海水浴場への来遊を推進する効果が高い。				
7 対象や意図の妥当性、費用対効果の検討								
○ 対象や意図を見直し、費用対効果を上げることができる ● 対象や意図の見直しはできない ○ その他				成東地区海岸で立地、収容台数、管理体制からも本須賀海岸の適正利用計画範囲が最も適当であり、対象地を拡充することは困難である。				
8 有効性（成果状況）								
○ あがっている ● どちらかといえばあがっている ○ あがっていない				駐車場整備については、砂利駐車場での不陸整正を行っている。				
9 有効性（成果向上余地）								
○ 成果向上余地・大 ● 成果向上余地・中 ○ 成果向上余地・小・無し								
10 事業の再編成								
○ 類似の事業があり、再編成できる ● 類似の事業はあるが、再編成できない ○ 類似の事業はない				類似事業として、成東地区内海岸駐車場整備や蓮沼地区の海岸整備があるが、立地や資金の面、関係機関との調整などの面から、再編成することは困難である。				
11 効率性（コスト削減の方法）								
○ ある ● ない				現在も受益者負担として駐車場使用料を徴収しているが、近隣市町村との価格差は正（普通車：山武市700円、九十九里町500円、大網白里町500円）や市民の使用料免除など要望がある状況で、更なる負担増加は来遊者の減少に結びつく恐れが大きい。				